



# 令和2(2020)年産なし管理ポイント (第8報)

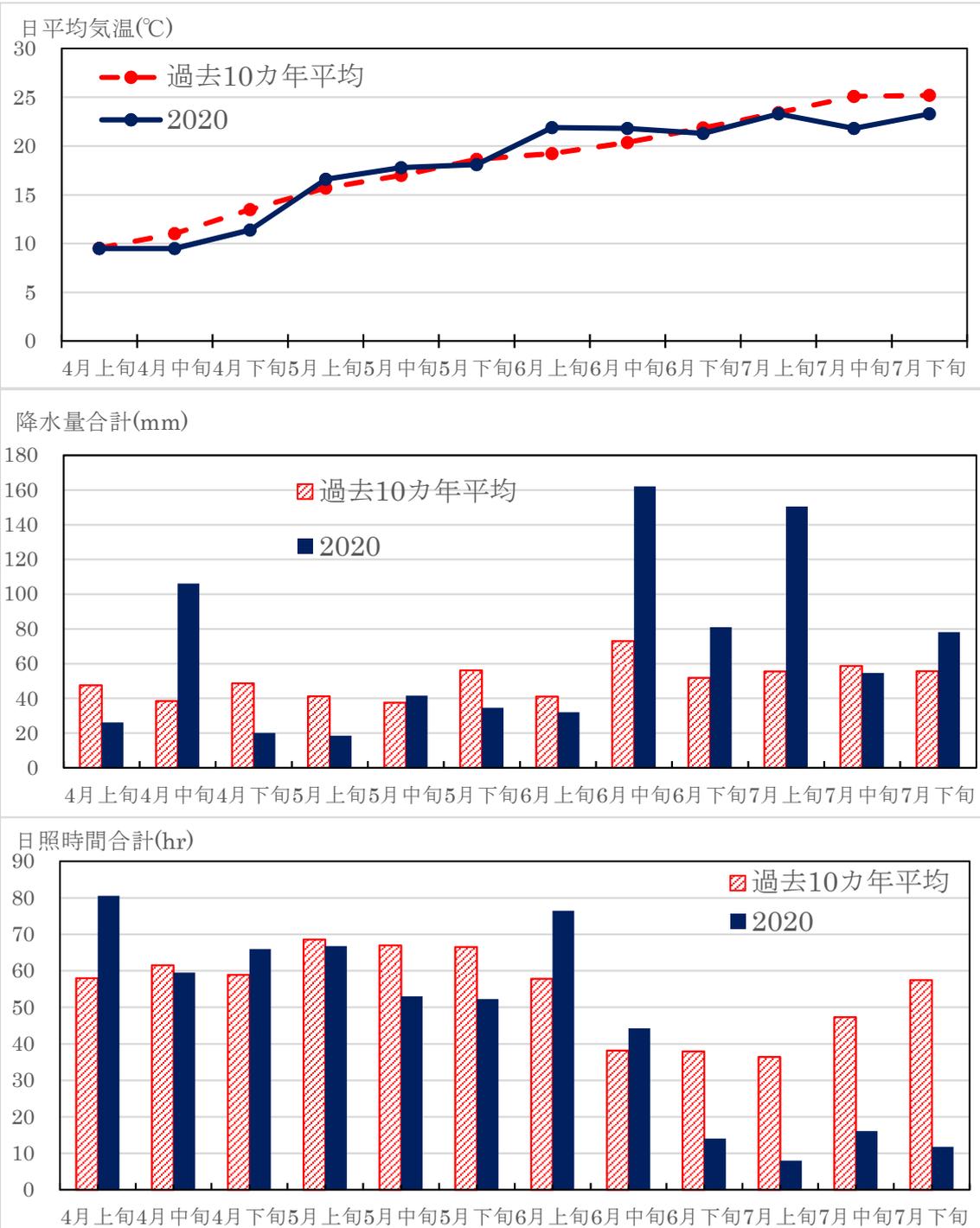
令和2(2020)年8月4日

栃木県塩谷南那須農業振興事務所経営普及部

## 今回の重点ポイント

- 梅雨明け後のハダニ類の発生に注意
- カメムシ類の飛来に注意
- 高品質「にっこり」生産のための輪紋病防除の徹底

### 1 気象経過 (アメダス：那須烏山)



## 2 生育状況と今後の生育予測

### (1)生育診断ほにおける果実肥大状況

- ◇ 那須烏山市は、満開後 100 日で「幸水」が平年比 94%、「豊水」が同 86%。
- ◇ 「にっこり」は農業試験場で、平年比 86%。

表1 生育診断ほの果実肥大状況

品種	地点	開花盛		果実横径mm (満開後日数)							
				30日	40日	50日	60日	70日	80日	90日	100日
幸水	那須烏山市	4/19 (-5)	本年	17.4	22.5	28.6	33.3			56.0	67.3
			平年比	83	84	92	93			93	94
	農業試験場	4/18 (-5)	本年	19.2	24.9	30.7	35.1	41.6	47.6	58.9	68.5
			平年比	85	86	90	89	91	87	89	89
豊水	那須烏山市	4/14 (-7)	本年		20.8	25.3					54.1
			平年比		81	86					86
	農業試験場	4/15 (-5)	本年	17.1	23.1	27.6	31.6	33.7	39.9	49.7	60.8
			平年比	71	80	82	83	79	80	84	87
にっこり	農業試験場	4/4 (-10)	本年	16.6	25.7	30.7	35.8	39.5	44.6	48.7	56.8
			平年比	70	84	85	88	87	88	85	86

### (2)生育診断ほにおける収穫予測

- ◇ 「幸水」の収穫時果実横径は、那須烏山市で平年比 96%と平年よりやや小さい見込み。
- ◇ 収穫は、「幸水」が那須烏山市で平年より 5 日早く連続収穫が始まり、同 3 日早く収穫盛（6割終了時）となる見込み。
- ◇ 「豊水」は平年より 4 日早く始まり、同 4 日早く盛となる見込み。
- ◇ 「にっこり」は農業試験場で平年より 2 日早く始まり、5 日早く盛となる見込みで、例年の傾向から管内でもほぼ同様の見込み。

表2 収穫期及び果実肥大の予測（農業試験場 7/27時点）

品種名	地点	果実横径	果重	収穫始	収穫盛
幸水	那須烏山市	84.2 (96)	304 (91)	8/15 (-5日)	8/23 (-3日)
	農業試験場	92.0 (94)	404 (87)	8/17 (-4日)	8/28 (-4日)
豊水	那須烏山市			9/5 (-4日)	9/15 (-4日)
	農業試験場	95.3 (91)	433 (84)	9/4 (-5日)	9/15 (-6日)
にっこり	農業試験場			10/12 (-2日)	10/23 (-5日)

※ 括弧書きは平年比。「-」は早い、「+」は遅いの意。

### (3)「豊水」の果実生理障害発生予測

- ◇ 「豊水」のみつ症及びす入りの発生は、平年と同様に少ない見込み。
- ◇ 満開後100日の果実比重および硬度は平年より低く、収穫時の果実は年よりも軟らかいことが予想される。

表3 農業試験場の豊水果実生理障害予測

項目	予測値	発生程度	平年	昨年	多発年予測(H15)
みつ症	1.6	少	1.4	3.0	2.5
す入り	1.7	少	1.4	3.2	3.6

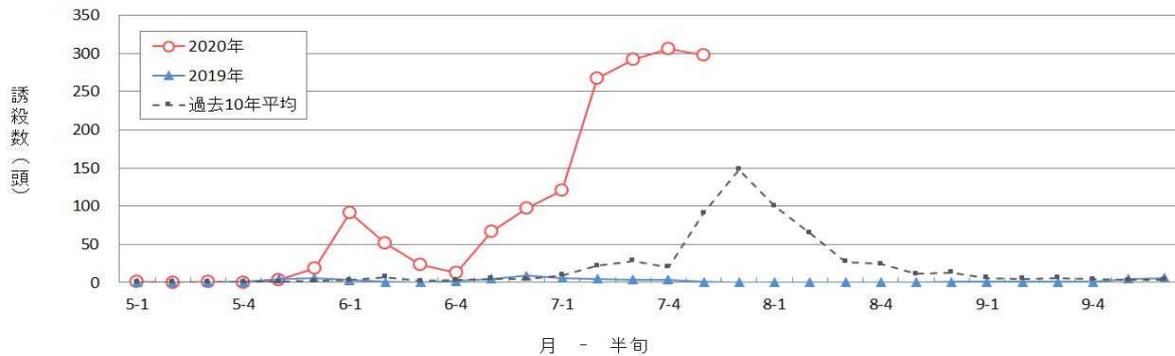
表4 豊水満開後100日の果実特性(比重および硬度)

調査地点	本年		平年	
	比重	硬度	比重	硬度
高根沢町	1.0274	11.1	1.036	17.2
那須烏山市	1.0343	14.6	1.036	14.4
県平均	1.0323	12.9	1.037	15.2

### (4)病害虫発生状況

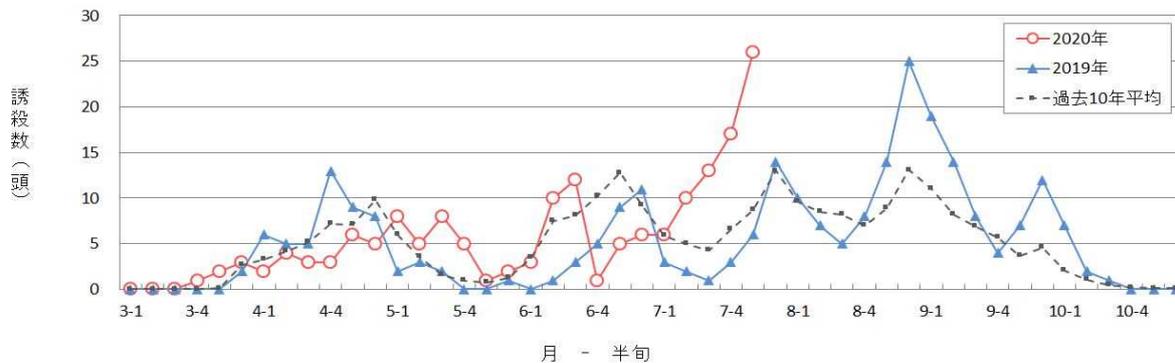
- ◇ 黒星病の発生は平年並みだが、ほ場によって差がある。
- ◇ カメムシ類の飛来が6月下旬頃から管内の果樹園で確認されている。

チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



- ◇ 6月以降、ナシヒメシンクイの発生サイクルが平年より早まっている。

ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



### 3 今後の栽培管理ポイント

#### (1) 気象災害の予防

- ◇ 台風やゲリラ豪雨等に備え、多目的防災網や梨棚の点検、排水対策等を収穫が始まる前に実施しておく。
- ◇ 干ばつ時は草刈りやかん水を励行し、雑草との水分競合を回避する。

#### (2) 収穫の準備

- ◇ コンテナや予備選果場所の清掃など収穫期に向けた準備を早めに行う。
- ◇ 予備選果調整場所は燃油・農薬類との距離をあけるなど、事故防止や二次汚染防止に努める。



#### (3) 病虫害防除

##### ① 病害（輪紋病）

- ・ 8月上旬までは散布間隔が空きすぎないように農薬防除を行う（12日以上空けないように）。
- ・ 「にっこり」の輪紋病対策として、幸水収穫後、豊水収穫後、にっこり収穫直前にそれぞれ下記の薬剤で防除する。

表5 輪紋病に適用のある薬剤

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数/ 使用回数	系統 (RACコード)
キノンドーフロアブル	1,000倍	3日/9回	F:M01
パレード15フロアブル	2,000~3,000倍	前日/2回	F:7
ベンレート水和剤	2,000~3,000倍	前日/4回	F:1
ナリアWDG	2,000倍	前日/3回	F:11

#### 【農薬の使用時期に関する注意点】

「収穫前日まで」とは？ → 薬剤散布後24時間以上経過で収穫可能



## ②カメムシ類

- ・ほ場内で飛来が確認されたら防除する。
- ・夜行性のため、蒸し暑い日の日没時に発生状況を確認する。
- ・夕方や早朝の防除が有効。

## ③ナシヒメシクイ

- ・部会防除指針のほか、県農業環境指導センターのフェロモントラップによる発生消長調査も参考にしながら防除時期を決める。
- ・防除適期は、成虫の発生ピーク時（若齢幼虫期）。
- ・農業環境指導センターの予測によると、アメダス那須烏山地点における第3世代の成虫のピークは8/24で、第4世代幼虫の防除適期は8/25～26。
- ・梨園の周囲に放任の核果類がある場合は発生源となるので同時に防除する。

## ④ハダニ類

- ・梅雨明け後、高温乾燥が続くと多発が懸念される。
- ・多発すると防除が困難になるため、発生初期の防除に努める。
- ・防除が遅れないようにするため、「例年発生し始める場所」や「園外周部の主幹に近い枝」等を重点的に観察し、果そう葉や徒長枝基部葉の裏を確認する（できればルーペで）。
- ・薬剤散布の目安：雌成虫1～2頭/葉、寄生葉率20～40%  
（葉を50枚見て10～20枚に寄生している状態）
- ・薬剤抵抗性が発達しやすいので、系統が異なる薬剤をローテーションで散布する。同一系統の薬剤は年1回のみを使用とする。
- ・主に葉裏に寄生するので、薬液が葉裏までよく付着するよう十分な量を散布する。
- ・散布7～10日後に、再度発生密度が増加する場合は追加散布する。

表6 殺ダニ剤一覧

薬剤名	希釈倍率	収穫前日数/ 使用回数	系統 (RACコード)
カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	前日/1回	I : 20B
コロマイト水和剤	2,000倍	前日/1回	I : 6
スターマイトフロアブル	2,000倍	前日/1回	I : 25A
ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日/1回	I : 23
ダニコングフロアブル	2,000倍	前日/1回	I : 25B
ダニサラバフロアブル	1,000～2,000倍	前日/2回	I : 25A
マイトコーネフロアブル	1,000～1,500倍	前日/1回	I : 20D
コテツフロアブル	2,000～3,000倍	前日/3回	I : 13*



### 農作物には登録農薬を使用し、使用基準を遵守しましょう！

身支度も万全に！

- ① 農薬容器のラベルをよく読み正しく使う（※）
- ② 農薬の飛散防止を徹底する
- ③ 農薬の使用状況を正確に記帳する

※既に購入されている農薬について、ラベルどおり使用できない場合がありますので、メーカーのチラシや県のホームページ等、最新の情報をご確認ください。

栃木県農業環境指導センター

検索
CLICK!

#### 4 季節予報（関東甲信地方）

##### (1) 1か月予報（8/1～8/31） 7/30 気象庁発表

○特に注意を要する事項

- ・ 2週目は気温がかなり高くなる可能性がある。

○予想される向こう1か月の天候

- ・ 平年と同様に晴れの日が多い。

○気温、降水量、日照時間の確率

・ 気 温	低 い	20%	平年並	30%	高 い	50%
・ 降 水 量	少 ない	40%	平年並	30%	多 い	30%
・ 日 照 時 間	少 ない	30%	平年並	30%	多 い	40%

##### (2) 3か月予報（8月から10月） 7/22 気象庁発表

○予想される向こう3か月の天候

- ・ 8月 平年と同様に晴れの日が多い。
- ・ 9月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い。
- ・ 10月 天気は数日の周期で変わる。

○気温、降水量の確率



#### 【気 温】 [関東甲信地方]



#### 【降 水 量】 [関東甲信地方]



7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。



高齢農業者の事故が多発しています！以下のことを心がけましょう。

- ・ こまめな休息、水分補給を行いましょ。
- ・ 日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょ。
- ・ 単独作業を避け、一人での作業の場合は携帯電話を持ちましょ。

なし管理ポイントはこちらからもチェックできます。

